研究委員会関連の決定事項

研究委員長　相川 良彦

９６年度村研大会は１０月下旬山形において開催する（開催校：山形大学、開催責任者：大川健嗣会員）。９６年度山形大会のセッション・テーマは、「環境保全型農業の現状と展望－都市と農村との連携再生に向けて－」（仮案）、コーディネーターは徳野貞雄会員（広島県立大学）、と決定した。メイン・テーマ自体が現代焦眉の課題であると同時に、９５年大会テーマ「環境」とつながり、議論を深め得ること、副題は地域問題への展開を期待して付けられた。次に、その年秋の大会セッション・テーマを前年暮れ乃至その年の初めに決めるというスケジュールでは準備期間が短すぎるとの反省から、翌９７年大会についても当理事会で大枠を決めることにした。協議の結果、９７年大会セッションのメイン・テーマを「中山間地問題」、副題としては「担い手問題」「国際比較」「村づくり」「高齢化」「地域計画」など幾つか考えられるので、今後検討していくこととした。コーディネイトを大野晃（高知大学）、松岡昌則（秋田大学）両会員へ依頼した。

また、研究委員長としては、数年のあいだ中断していた研究委員会主催の関東地区での研究会を、９月下旬～10月初旬に大会テーマに呼応するようなテーマ設定のもとに再開したい、と思っている。それによって大会テーマへの関心を引き起こし、周りの雰囲気が多少とも盛り上がることを期待している。なお、９６、９７年大会セッション・テーマとコーディネーターは上記のように理事会ベースで決定したが、望むらくは個々の会員の発意によりテーマが提起され、コーディネイトもされるべきであろう。今春予定の「会員名簿」更新のための調査時に各自の研究領域インタレスト調査と９８年大会のテーマ及びコーディネイター募集も行うので、積極的に応募していただきたい。